

## 家庭基礎 学習指導案 (1)エ,(2)オ

- 1 単元名 「食べる」ことから考えよう！  
～自分のからだと地球を守るために、高校生の私ができることは何だろうか～
- 2 指導内容
  - ・私たちの消費行動と日本の食料自給率との関係を知ろう。(1・2 / 6時間)
  - ・あなたの考えが地球を変える！～気付こう、変わろう、提唱しよう～  
(5・6 / 6時間：本時)
- 3 本時の目標 食事と心身の健康とのかかわり、消費生活と環境問題とのかかわりについて理解させ、自分や家族の健康及び環境を考えた消費行動について検討させる。
- 4 評価規準
  - ア 食事と心身の健康とのかかわりに関心を持ち、各自の食生活を振り返りながら意欲的に学習活動に取り組んでいる。(関心・意欲・態度)
  - イ 現代の食生活の問題点について、自分や家族の食生活と関連付けて具体的に考えることができる。(思考・判断)
  - ウ 家族の食生活と環境とのかかわりを考えた消費行動について検討することができる(技能・表現)
- 5 本時の実際<2時間>

	生徒の学習活動	教師の指導内容	評価規準と方法
導 入	1. 前回の学習内容を振り返る。 2. 前回のプリント(前半部分)を見直す。	・自分の食生活のバランスについて確認させ、食生活チェックカレンダーの記入の有無を質問する。	
展 開	3. 本時の学習内容を知る。 地球全体に目を向けて食の問題をとらえ、自分が出来ることを考える。	・食を通して、「自分」から「地球」へと視点を広げていくことを伝える。 ・食の問題を自分のこととしてとらえるよう、伝える。	
	4. 地球の食と政治・環境問題について考える。 日本の食糧事情と世界情勢との関連について知る。 家族の冷蔵庫の様子を思い出し、自分が出来ることを考える。	・ハンガーマップを再度掲示する。 ・前時の学習内容のうち、日本の食糧廃棄の実態について復習し、ハンガーマップを見ながら、世界の食糧資源の偏りに気付かせる。 ・フードマイレージについての説明、食糧廃棄とCO <sub>2</sub> 排出量の関係についての説明を行う。	
	5. 食事が心の健康にも寄与していることを知る。 「スーパーサイズ・ミー」の要約(文章)を読む。 早寝早起き朝ごはん運動の意義を考える。	・「スーパーサイズ・ミー」がドキュメントであることを伝え、食べ物が心身に及ぼす影響について考えさせる。 ・「スーパーサイズ・ミー」のダイジェスト版を視聴させる。 ・食と心身の健康との関連について、保健の授業内容でも取り扱うことを説明し、重要なことであると認識させる。 ・「早寝早起き朝ごはん」運動が推奨されている理由を考えさせ、発表させる。	規準ア【関】 行動観察
ま と め	6. 本時の内容をまとめ、提言シートに自分の意見を記入する。 感想をまとめる。	・これまでの学習内容を思い出させ、自分や家族が出来ることを考えさせる。 ・提言シートに記入させ、「変わろう、変えよう」という意識をもたせる。 ・提言シートを後日掲示し、みんなの意見を共有することを伝える。 ・「気付く」「考える」こと、そして、「伝える」ことの大切さを確認する。	規準イ【思】 ワークシート  規準ウ【技】 ワークシート